

ROSÉ

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2023 Autumn Vol.125

TAKE
FREE
無料

ROSÉ

富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2023年9月発行(第125号・秋号)
■発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タイムデザイン



30th Anniversary
ROSÉ THEATRE

ロゼシアター開館30周年記念号



ロゼシアター開館 30 周年 記念対談



公益財団法人富士市文化振興財団
理事長 秋山喜英

ピアニスト
仲道郁代

仲道さんとの縁

秋山 仲道さんとロゼシアターはとても縁が深く、開館十周年、開館二十周年記念式典、市制五十周年の節目にご出演いただきました。実は過去十二回という最多出演アーティストでもあります。ロゼシアターにはどのような印象をお持ちでしょうか。

仲道 懐かしい思い出がたくさんあります。なかでも、こども向けコンサートや、作曲家の話を交えた公演など、工夫を凝らしたプログラムを昔から続けていらっしゃる印象ですね。最近ではそういったコンサートも増えていますが、当時は先端を行く試みとして非常に意欲的なことをロゼシアターでは実現してきたのだと思います。

秋山 ありがとうございます。当館は静岡県東部地域において芸術文化の発信拠点という自負もあり、このように評価いただけることをうれしく思います。

祝辞

平成五年十一月に開館した富士市文化会館ロゼシアターは、今年三十周年を迎えることとなりました。長きにわたりご支援をいただいております市民の皆様並びに関係者の方々に、心から感謝申し上げます。

ロゼシアターは、富士市民をはじめとする地域住民の皆様方に、さまざまな舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、文化芸術の創造・発信の場としての役割を担ってまいりました。これまでの累計施設利用者は二四〇万人を超え、静岡県東部地域の文化芸術の拠点として定着しております。

また、全国の優良ホール一〇〇選にも選定されているロゼシアターは、大・中・小の三つのホールや広い展示室を備え、全国屈指の会館として、著名な演奏家や芸術愛好家から大変高い評価をいただいております。

本年度は開館三十周年

を記念して、パーヴォ・ヤルヴィ指揮チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ミチヨ・ブリス・リウ、共演者選抜コンクール及びシエナ・ウインド・オーケストラ公演などが企画されておりますので、多くの方にご来場いただきたいと思います。今後、このロゼシアターを拠点に、「こころ豊かな人を育てる文化のまち」の実現に向け努めてまいります。

結びに、文化芸術に携わる皆様の更なるご活躍・ご発展を祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



富士市長
小長井義正

富士市文化会館ロゼシアター 開館30周年を迎えて



ロゼシアターが開館して、本年十一月で三十周年を迎えます。この三十年間で多くの方に足をお運びいただきました。心よりお礼申し上げます。

ロゼシアターの愛称で親しまれている当館は、公益財団法人富士市文化振興財団が指定管理者として施設の維持管理に加え、公益性の高い事業を実施しております。同時に、市民の文化活動を支援・育成する役割を果たすことを使命に、地域に根差した文化会館を目指しております。

市民の皆さまには一流の演奏会を提供し、喜んでいただけるようなプロモートをはじめ、財団が特に力を入れていることは、乳幼児か

ら小・中学生、青少年達が、文化・芸術に触れる機会を多く提供することです。同時に、会館に足を運ぶことが難しい方々へのアプローチとして、アウトリーチ事業にもより一層力を入れ、文化のすそ野を広げるために努めてまいります。

今後、当文化会館の事業に対し、ご支援を賜りたく存じます。



公益財団法人
富士市文化振興財団
理事長 秋山喜英

富士市文化会館ロゼシアターは、二〇二三年十一月一日に開館三十周年を迎えます。これを記念し、静岡県出身のピアニスト・仲道郁代さんと、公益財団法人富士市文化振興財団の秋山喜英理事長が対談を行いました。

仲道 私は現在、静岡県の文化政策審議会委員も務めておりますが、ロゼシアターはやはり東部のシグネチャーホールとして文化をけん引する立場にあると思います。

人々の日常の中にあるものが文化であり、さらに、先人の叡智や極まった感性といったものが純度を高くして示されたものが芸術だと考えたとき、ロゼシアターのような公共ホールは、芸術を多くの方に広く開いていく役割と、生活の中の文化的で多様な面を、地域の人たちと共有していく役割があるのではないのでしょうか。また、楽しみを享受する場というだけではなく、その地域の中で心身の両面から安全を守るという意味でも、今後はますます大きな役割を担われるのではないかと思います。

心が動く場を・・・

秋山 ただ文化を享受するに留まらない、多種多様な提供を可能とする運営が今後は求められていますね。また、配信メディアが急進する一方で、生の芸術文化を届ける役割が、やはり私たちの主体であるとも思います。

仲道 コロナ禍を経て再開した公演では、次に奏でられるピアノシモの静かな一音に耳をすませ、皆で聞き入ろうとする集中した空間、生で何かを味わうことの貴重さ・希少さを改めて実感しました。今後、配信ツールが発展していくことにより更にこういった場は少なくなっていくと思います

す。生の演奏を届けるにあたり、できるだけタイムリーかつ良質なものを提供することが求められています。また、ただ聴くという一方通行ではなく、演奏者と観客が相對することのできるようなものや、アウトリーチのようなものを地域の中で展開していきたいですね。

仲道 ただ音が聞こえてくるのではなく、音楽の中に何かを見出したいと能動的に聞いていただけたらと願っています。私がコンサートで曲についてお話をするのも、そのためなのです。

演奏中、「皆さん」のためにと考えると誰のために演奏しているかわからなくなる時があります。「皆さん」というのは多様な個人の集まりです。「皆さん」に向けて音を奏でるというのは私には難しいことで、お一人お一人へ向けて音を出しているという感覚を私自身は持っています。「皆さん」という顔の见えない誰かではなく、この催しはこういった目的で、こういった方々へ、という意識を重層的に積み重ねていくことで、すなわち「皆さん」に広がっていく、そんな考え方もあるのではないのでしょうか。

また多様性と共に持続可能という言葉も重要です。そこで受けた感動を人とシェアをして広がり、コミュニティができていくということが、すなわちホールを中心とした持続可能で文化的な生活・文化的な日常・人生、そういったものになっていく。そ

Profile

ピアニスト 仲道郁代

静岡県出身。日本で最も求められ続けているピアニストの一人。日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位ほか国内外の受賞歴多数。バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィル等、海外のオーケストラと共演多数。ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to 2027 リサイタル・シリーズ」を展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

公益財団法人富士市文化振興財団

理事長 秋山喜英

静岡県富士市出身。富士市役所にて総務部長を務めたのち、公益財団法人富士市文化振興財団常務理事、理事を歴任し、令和5年5月より理事長に就任。これまでに公益財団法人静岡県文化財団監事などを務める。

ます。だからこそ、人が何かを真剣に聴き、心が動くというすばらしい場を大切にしていけることが、人間が人間であるための重要なことを守るような気がします。

秋山 配信等のメディアも、足を運ぶことが難しい方の手段としての良さがあると思いますが、お客様がその場で演奏を聴いて、鳥肌がたつような感動を得るという経験は、体感があればこそですね。公演が再開されたとき、我々も強く感じました。このコロナ禍、仲道さんはどのように過ごされたのでしょうか。

仲道 半年ほどまったく演奏活動がありませんでした。これまでのキャリアでも初めてのことで戸惑い、公演で弾くという意味、音楽が私に、またお客様にもたらしめていることは何だろうとあらためて考えました。公演が再開されたときの舞台に立った感覚は一生忘れられないと思います。お客様が待っている、そこに向けて音を出すということにとっても緊張しましたし、公演というのは、自分だけで立っているわけではないということであらためて感じました。皆で乗り越えようと頑張った数年間、もう一息まできたなと思います。

多様性と共に・・・

秋山 状況が戻りつつある一方で、新たに求められることなども出てきたと思います

の循環を提供できる可能性がホールにはあると思います。

秋山 これからの文化芸術のビジョンを描くうえで、大変心強いお話を伺うことができました。できれば最後に、これからのロゼシアターへエールをいただければと思います。

仲道 希望を持ちにくいこの時代、文化会館の役割というのはとても大きいものだと思います。そんな時代に、目の前に広がる富士山のように、人々の心のよすがとなる会館として、ますますのご発展をお祈りいたします。

秋山 今後ともお力添えをお願いいたします。本日はありがとうございました。

撮影 長橋 睦

普及事業

市民各層に気軽に芸術文化を鑑賞し、参加する場を提供していく事業。
また、青少年を対象として、マナーや鑑賞能力を養う。
(出演者、講師、演奏団体等はプロもしくはそれと同等)

ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート

富士市内の公立中学2年生を対象に、オーケストラの優れた演奏に直に触れ、豊かな感性を育てることを目的として開催。

1994年～2015年 新日本フィルハーモニー交響楽団
2016年～ シエナ・ウインド・オーケストラ

ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート

富士市内の小学6年生を対象に、富士山静岡交響楽団による演奏と解説で、優れた芸術文化の鑑賞の場を提供。さらに子供たちを舞台上に登壇させるなど、演奏鑑賞や指揮者体験などを通して音楽の魅力に触れてもらうことを目的に実施。

1994年～ 富士山静岡交響楽団

ふじ少年少女芸術劇場 小学校学校コンサート

市内小学校26校を3年間で巡回する学校出前コンサート。子どもたちに生の演奏に触れる機会をより多く提供することを目的として実施。

1994-1996 アンサンブル・ルスティーク(金管アンサンブルとシンセサイザー)	2009-2011 MYリズムネイション(ゴスペルとヒップホップ)
1997-1999 エル・コンドル&デュエットエスぺランサ(南米の民族音楽)	2012-2014 ザ・ジョイフルプラス(プラスアンサンブル)
2000-2002 東京ブロックプレーテ・アンサンブル(リコーダーアンサンブル)	2015-2017 アフリカン・オールスターズ(アフリカンミュージック)
2003-2005 アクワバ(アフリカンミュージック)	2018-2020 ムジカトウキョウ・サロンオーケストラ(スペシャル・ワールド・ミュージック)
2006-2008 鬼太鼓座(和太鼓)	2021-2023 T.J.P.P.A.L(マリンバとパーカッション)

おでかけ芸術教室

小学生を対象に比較的小規模での開催を中心とし、従来の学校対象事業では難しかった子ども達とアーティストとのコミュニケーションを重視。主なアーティストには、育成事業の「新人音楽家による演奏会」出演者を中心とした若手を起用している。

2018年10月10日 富士特別支援学校	2020年2月19日 吉原小学校	2021年11月29日 元吉原小学校
2018年11月14日 大淵第一小学校2年生	2020年2月26日 伝法小学校	2021年12月2日 富士見台小学校
2018年11月16日 大淵第一小学校1年生	2020年11月2日 伝法小学校	2021年12月6日、7日 丘小学校
2018年12月15日 たごうら児童クラブ	2020年11月9日、10日 富士第一小学校	2021年12月13日 原田小学校
2019年11月8日 富士特別支援学校	2020年11月19日 吉永第二小学校	2021年12月20日、22日 伝法小学校
2019年11月29日 大淵第一小学校	2020年11月25日 吉原小学校	2022年1月25日、27日 鹿岡小学校
2019年12月16日 吉永第二小学校	2020年11月30日 富士中央小学校	2022年11月24日 富士第一小学校
大淵第二小学校	2020年12月7日 元吉原小学校	2022年12月5日 大淵第一小学校
今泉小学校	2020年12月15日 原田小学校	2022年12月12日 鹿岡小学校
2020年1月28日 元吉原小学校	2021年11月8日 青葉台小学校	2023年1月18日 富士川第一小学校
2020年2月10日 富士第一小学校	2021年11月17日 東小学校	2023年1月25日 青葉台小学校
2020年2月12日 岩松小学校	2021年11月22日 天間小学校	2023年2月8日、10日 丘小学校

ロゼ富士山こども将棋大会

2013年、開館20周年記念事業として招致した「第71期将棋名人戦」のプレイベントとして初開催。
小学生を対象に、将棋の楽しさ、あいさつの大切さを学ぶことを目的に実施。

育成事業

発表する機会、参加する場所を提供することにより、
創造する文化の担い手を育成する。
(出演者、講師、演奏団体、グループ等は地元の演奏家)

ロゼこどもコンサート

富士市内の音楽団体「富士クラシック協会」の協力による、0歳から入場可能な演奏会。クラシックをメインにリトミックなどを盛り込み、子どもが楽しめるプログラムを提供している。

2004年、初開催。以後毎年開催。

ロゼこどもスプリングコンサート

富士市内の音楽団体「アンサンブル・ローズ」の協力による、0歳から入場可能な演奏会。演奏に加え、読み聞かせや手遊び、映像を用いた演出なども盛り込んでいる。

2009年、初開催。以後毎年開催。

シエナ指導者派遣／アウトリーチ事業

富士市内の中学校吹奏楽部にシエナ・ウインド・オーケストラのメンバー数名を派遣し指導を行う。

2019年6月22日 吉原三中、吉原一中	2019年7月21日 吉原二中
2019年6月23日 岩松中、富士中	2022年1月28日 吉原二中、岳陽中

History of ROSÉ THEATRE



自主事業30年を振り返る。



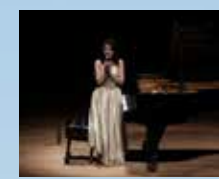
「富士市民の文化活動を推進し、芸術文化の振興及び地域文化の創造と発信を図り、豊かで潤いのある市民生活の発展に寄与するため主催事業を行う」という目的で平成四年に設立された富士市文化振興財団は、平成五年の開館から三十年間、ロゼシアターの管理・運営を担ってきました。

そして、主催事業は、「普及事業」「育成事業」「創作事業」「交流事業」「鑑賞事業」の五つの大きな柱を基に構成されています。

国内はもとより、世界で活躍するオーケストラや、様々なジャンルのアーティストのコンサート、日本屈指の劇団の演劇やミュージカル、歌舞伎、落語といった古典芸能など、上質なステージを提供しています。



【記念式典】
ロゼシアター中ホールにて行われた「開館20周年記念式典」。式典後、仲道郁代さんのオールショパンプログラムのピアノコンサートも開催された。



また、市内各所に出向いて実施するアウトリーチ事業や、文化の普及・育成などを主目的とした事業も実施しています。

節目の年には、記念事業として様々な特別事業を実施しており、平成二十五年には、開館二十周年記念事業として将棋名人戦を招致するなど、地域の文化の発展に寄与しています。

三十周年を迎えるにあたり、その事業の数々を振り返ります。



【名人戦】
ロゼシアター4階、和室で開催された「第71期将棋名人戦 7番勝負 第2局」。森内俊之名人(当時)に羽生善治三冠(当時)が挑んだ。結果、109手にて森内名人の勝ち。



【ポスター展】
ギャラリーでは、ポスター展も開催され、20年間の歩みを辿った。

本場アメリカのゴスペルグループや日本トップクラスのゴスペルグループと共演。

2003年、2004年、2005年 サウンド・オブ・ジョイ
2007年12月23日 ニューヨーク・ハーレム・シンガーズ with ロゼ・ゴスペル・クワイア
2010年12月18日 亀淵友香&VOJAゴスペルコンサート
2016年12月17日、2018年12月16日 ニューヨーク・ゴスペル・ブラザーズ

スタンプラリー

地域の文化団体の協力を得て実施する。夏休み期間に会議室などの館内施設をめぐる、子ども向けの鑑賞型・体験型のイベント。

2007年～現在。計16回開催。



トレインフェスタ

地元の鉄道愛好団体の協力を得て実施する、夏休みの親子を対象とした人気企画で様々な鉄道模型や鉄道写真の展示のほか、ミニレインの乗車体験などが楽しめる。

2007年～現在。計16回開催。



おでかけクラシック

富士市内外の病院、福祉施設、幼稚園に出向き実施するクラシックコンサート。

2014年12月3日	駿河荘、みぎわ園	2019年8月27日	ツクイ富士森島
2015年2月24日	岩松幼稚園、鷹岡病院	2020年2月13日	みぎわの里、コフレ・アントレード富士
2016年3月3日	特別養護老人ホーム風の杜、蒲原総合病院	2020年2月20日	ヒューマンヒルズ森島
2017年12月5日	松野こども園	2021年12月15日	富士ふたば幼稚園
2018年2月15日	特別養護老人ホーム風の杜、鷹岡病院	2022年11月25日	松の実保育園、モンテッソーリ保育園
2019年1月25日	たかおかこども園	2022年12月3日	くすのき学園
2019年2月28日	みぎわの里、コフレ・アントレード富士	2022年12月19日	するが幼稚園



おでかけミュージカル

まちづくりセンターや福祉施設に出向き、文化にふれあう機会の少ない方々やロゼシアターに足を運ぶ事が困難な方々のために、ミュージカルを上演している。



2011年6月25日	社会福祉センター 広見荘	2014年3月29日	伝法まちづくりセンター	2017年3月26日	鷹岡まちづくりセンター
2011年6月26日	社会福祉センター 田子浦荘	2014年3月30日	松野まちづくりセンター	2017年6月17日	フィランセ西館4階大ホール
2012年3月24日	社会福祉センター 鷹岡市民プラザ	2015年3月28日	フィランセ西館4階大ホール	2018年3月24日	湖山リハビリテーション病院
2012年3月25日	社会福祉センター 東部市民プラザ	2015年3月29日	大淵まちづくりセンター	2018年3月25日	丘まちづくりセンター
2012年9月29日	特別養護老人ホーム 加島の郷	2016年3月26日	湖山リハビリテーション病院	2019年3月30日	富士南まちづくりセンター
2012年9月30日	特別養護老人ホーム みぎわ園	2016年3月27日	鷹岡まちづくりセンター	2019年3月31日	岩松北まちづくりセンター
2014年3月28日	富士市立中央病院	2017年3月25日	松野まちづくりセンター		

鑑賞事業

第一級の芸術作品を積極的に招聘し、作品と市民との出会いの場をつくる。（出演者等は国内外で活躍するアーティスト）

クラシック

2009年12月14日 小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団
2011年10月24日 佐渡裕指揮 ベルリン・ドイツ交響楽団
2013年9月22日 ウラディミール・アシュケナージ指揮 アンサンブル金沢(ピアノ:辻井伸行)
2019年11月1日 アンドレイ・ボレイコ指揮 ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団(ピアノ:反田恭平)

演劇・ミュージカル

劇団四季、劇団☆新感線、俳優座、文学座 など

ポピュラーミュージック

坂本龍一、さだまさし、美輪明宏、藤井フミヤ、東京スカパラダイスオーケストラ、布袋寅泰 など

古典芸能

歌舞伎 市川團十郎、市川海老蔵、中村勘三郎 など 能・狂言 津村禮次郎、野村万作、野村萬斎 など
落語 立川談志、三遊亭円楽、林家正蔵、桂文枝 など

育成事業

新進アーティスト作品展

県内の18歳から35歳まで限定の公募展。現代アートに対する若者の取り組みを支援している。

2002年、初開催。以後毎年開催。



シエナ・アンサンブル・ワークショップ

吹奏楽を楽しむ青少年の育成・技術向上を図ることを目的とし、吹奏楽部に所属する学生アンサンブルを対象に行っている。



2017年、初開催。以後毎年開催。

創作事業

財団と市民、文化団体が一体となって、新しい郷土の芸術文化の創造を目指す。
(参加者又は出演者を市民からの公募により決定)

市民ミュージカル

公募で選出された出演者が、約半年の稽古期間を経てオリジナルミュージカルを披露する。近年はスタッフも市民有志が担う。富士市制記念、ロゼシアター開館記念年に実施する大規模なミュージカルからワークショップ形式の小規模なミュージカルを実施。



1998年11月	新・曾我物語～名残りの小袖～		
1999年8月	サマー・ミュージカル・スクール 「ハロー・マイタウン」		
2000年8月	サマー・ミュージカル・スクール 「新説・竹取物語THE TAKETORI STORY」		
2001年12月	東海道四〇〇年祭「弥次喜多道中夢枕」	2012年7月	ミュージカルワークショップ「The Musical Time」
2002年7月	サマー・ミュージカル・スクール「新説・竹取物語THE TAKETORI STORY」	2013年10月	開館20周年記念「I Live Here」
2003年9月	開館10周年記念 「HAND in HAND～心と心の回想録～」	2014年9月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2014」
2004年7月	サマー・ミュージカル・スクール「DREAM COME TRUE～我楽詫屋物語～」	2015年10月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2015」
2005年7月	サマー・ミュージカル・スクール「我楽詫屋物語II～忘れないよ～」	2016年10月	市制50周年記念 KAGUYA
2006年11月12月	市制40周年記念 『Memory』～ロゼシアターのクリスマス・キャロル	2017年10月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2017」
2007年7月	サマー・ミュージカル・スクール「我楽詫屋物語III～ほんの少しの勇気をもって～」	2018年10月	開館25周年記念「I Live Here」
2008年10月	開館15周年記念 「Heart～優しさの中にある勇気～」	2019年10月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2019」
2010年3月	HAND in HAND ～心と心の回想録～	2020年10月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2020」
2010年7月	我楽詫屋狂詩曲(ラブソディ)～猫はニャンでも知っている!～	2022年2月	Heart～優しさの中にある勇気～ Picture Story Edition
2011年7月	A Passage Point	2022年10月	ミュージカルワークショップ「THE MUSICAL TIME 2022」
		2023年10月	開館30周年記念 Dear...[A Christmas Carol of ROSÉ THEATRE]

市民合唱

国内のプロのオーケストラとの共演により、公募で選出された市民合唱団が合唱曲を披露する事業。

1996年11月1日	見よ西風からの富士(演奏/静岡交響楽団)	2000年10月15日	モーツァルト「レクイエム」
1999年11月5日	ベートーヴェン「第九の集い」	2003年7月6日	ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」



交流事業

地域における文化交流の向上を目指す、文化活動の交流する機会を提供する。
●国内外で活躍する芸術家と地元在住者・地元演奏家等の交流。
●地域の文化活動グループと一般市民の交流。
●同ジャンルの文化活動グループ間の交流。 ●異文化間の交流。

海外アーティストと地元音楽家の共演コンサート

2004年11月18日	ベルリン弦楽四重奏団/杉山倍美(ピアノ)
2005年11月26日	スローカートロンボーン四重奏団/小野隆洋(トロンボーン)
2006年6月24日	チェコ・フィルハーモニー六重奏団/川島祐子(フルート)
2011年11月5日	ザルツブルガー・ソリストエン/望月房子(ピアノ)、小池冨佳(ピアノ)
2015年1月26日	プリマヴィスタ弦楽四重奏団/池田仁美(ピアノ)



西洋音楽史の扉

第十話 ドイツ古典派物語 クラシック音楽の誕生



ドイツ古典派の巨匠たち（左からハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン）

「西洋音楽Ⅱクラシック音楽」。何となく、こんなふうに思っていないでしょうか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。西洋史のなかにも、さまざまな音楽物語があります。今回のテーマは、「ドイツ古典派物語」です。

「クラシック音楽」の誕生

西洋音楽史のなかでも、「ドイツ古典派」と呼ばれている時代ほど重要な時代はないといえるかもしれません。なぜなら、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンという三大巨匠を生み、交響曲、弦楽四重奏曲、ピアノ・ソナタなどクラシック音楽の核となる音楽形式が完成したこと、さらには「クラシック音楽」という言葉さえも、この時代に誕生したからです。では、あらためて「古典派」とは何でしょうか。ふつう音楽史的には、古典派はバロックとロマン派のあいだに位置しますが、さきほどの三大巨匠を「古典派の巨匠」と

は単純に言い切れないところがあります。まず、ハイドン（七三二―一八〇九）はバロック期を象徴する宮廷音楽の最期の巨匠と呼ぶべきでは？とか、モーツァルト（七五六―一七九一）は、古典派というよりもロココでは？とか、ベートーヴェン（一七〇一―一八二七）は古典派というよりもロマン派の先駆者では？など、じつは「古典派」をどう考えるかは専門家でも意見が分かれるのです。

「古典派」誕生の秘密とは？

なぜでしょうか？それには理由があります。ふつう音楽史は、「バロック→古典派→ロマン派」という流れで語られますが、それは誤解で、じつは古典派は、ロマン派のあとに作られた時代区分なのです。英文学者のマリオ・プラッツは、「ロマン主義がある段階まで来てそれ以前の時代に対する憧れが生じてこれに別な名称を与えることが必要になったのが古典主義である」（『ロマン主義の臨終』）と書いています。いっけん奇抜に思えますが、あらためて考えてみると、このほうが、バロックとロマン

派をつなぐ古典派の意味がくっきり見えてきます。ロマン派の作曲家たちにとって、三大巨匠の存在はいかに大きなものだったか。それは、たとえば、ブラームス（一八三三―一八九七）が『交響曲第一番』を完成させるのに、約二十年もの歳月をかけたことでもよくわかります。ブラームスにとつて交響曲という音楽形式をあれほど見事に完成させてしまった巨匠たちのあとに「交響曲」を書くことは、それほど重圧だったのです。つまり、「古典派」には、「偉大な巨匠たちの時代」という意味もこめられています。古典派が英語で「クラシカル・エイジ」と呼ばれるのも、なるほどと納得できます。

三大巨匠の生きた時代

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのドイツ古典派三大巨匠は、ほぼ同時代を



モーツァルト最後の時（F. シャムスの原画によるリトグラフ）



ハイドンと弦楽四重奏（コリウス・シュミット筆）

生きた音楽家でありながら、その環境や作風もまったく異なります。ハイドンは、宮廷音楽家というヨーロッパ音楽の伝統のなかで、その才能を遺憾なく発揮した偉大な音楽家でしたが、モーツァルトは逆に、宮廷を飛び出して、自由な音楽活動を夢見た天衣無縫の天才でした。馬車による長距離旅行が可能となった時代の恩恵もあり、彼はヨーロッパ中を放浪しており、あらゆる音楽を吸収し、歌劇、交響曲、室内楽曲、器楽曲など、ほぼすべてのジャンルを縦断して膨大な作品を残し、三十六歳という若さで世を去ります。「熱情的」なイメージで語られるベートーヴェンは、若い頃こそボンの宮廷音楽家の身分でしたが、ウィーンで活躍するようになってからは、完全に宮廷音楽家から独立。作曲して楽譜を売って生きるという新時代



ベートーヴェンの自筆楽譜（熱情ソナタ冒頭）

参考文献

『西洋文化と音楽（中）（下）』P. H. ラング著、酒井諄他監訳、音楽之友社 1975-6
『古典派音楽の様式』チャールズ・ローゼン著、大久保賢、中村真訳、音楽之友社 2021
『138億年の音楽史』浦久俊彦著、講談社 2016
Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont

浦久俊彦（うらひさ としひこ）

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー。2021年3月、サランカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（指揮者・山田和樹との共著）』（アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。

今回は、第十一話「ピアノ三〇〇年史
ブルジョワ文化とピアノの巨人たち」
です。お楽しみに！

浦久俊彦

代の変革期という嵐のなかを、小さな舟で漕ぎ出すような挑戦だったともいえるでしょう。それを思うとき、「古典派」という、いっけん安定した平穏な響きをもつこの言葉の重みと価値が、激動の時代を強かに生き抜き、そのなかで培われてきた「精神」そのものだということがみえてきます。

1月

ふじ寄席 春風亭一之輔 独演会

日時: 2024年 1月10日(水)
開場18:00 開演18:30

会場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 4,000円
学生 1,000円
※未就学児入場不可



春風亭一之輔

発売日
WEB: 10月12日(木)
窓口: 10月13日(金)

2月

劇団四季ミュージカル 『クレイジー・フォー・ユー』

日時: 2024年 2月4日(日)

会場: 大ホール
※詳細は10月以降
ホームページを
ご覧ください



©荒井健

2月

三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い! vol.2

日時: 2024年 2月16日(金)
開場18:30 開演19:00

会場: 小ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 2,500円
※未就学児入場不可



三枝成彰

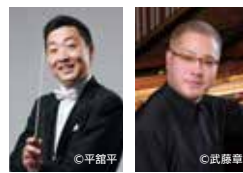
発売日
WEB: 11月8日(水)
窓口: 11月9日(木)

1月

富士山静岡交響楽団 新春富士ニューイヤーコンサート

日時: 2024年 1月21日(日)
開場13:30 開演14:30

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
※当日500円増(一般のみ)
※未就学児入場不可



指揮 横山奏



田村 賢

発売日
窓口: 10月27日(金)
※ロゼシアターでは窓口販売のみ

2月

ロゼ・フォークプラザ Vol.20 ～FINAL～ 伊勢正三・南こうせつ Best Night

日時: 2024年 2月10日(土)
開場17:00 開演17:30

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 7,000円
※未就学児入場不可



伊勢正三



南こうせつ

発売日
WEB: 11月9日(木)
窓口: 11月10日(金)

3月

ロゼ☆よしもとふるさと劇団 &よしもとお笑い公演

日時: 2024年 3月17日(日)
開場13:00 開演14:00

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 1,500円
※3歳以下入場不可

出演者募集

11月17日(金)募集開始

発売日
WEB: 1月11日(木)
窓口: 1月12日(金)

作品募集

新進アーティスト作品展 vol.22 —Art Generation 2024—

日時: 2024年 3月2日(土)～10日(日) 10:00～18:00
会場: 展示室 入場料: 無料 ※最終日は17:00まで

- 対象: ①静岡県出身および在住、在学、在勤の18～35歳
②静岡県内高校生(20歳未満) ※いずれも2023年4月1日現在の年齢
- 募集作品: 平面、立体、映像、インスタレーション
- 募集期間: 2024年1月4日(木)～2月11日(日)
- ※詳細はホームページをご確認ください。

出演者募集

新人音楽家による演奏会

日時: 2024年 3月14日(木)
会場: 小ホール 入場料: 均一 1,000円

- 対象: 静岡県富士市及び富士市近隣出身者
25歳以下の音楽大学および音楽短期大学卒業生
(2024年3月卒業予定者を含む)
- 演奏形態: 1人10分以上15分以内・曲目自由
- 募集期間: 今秋
- ※詳細はホームページをご覧ください。

WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
- 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
- 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
- 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

※最新情報は、ロゼシアターホームページをご覧ください、直接お電話にてお問い合わせください。

EVENT SCHEDULE 2023 10～12

イベントスケジュール 2023年10月～12月

ロゼシアター主催事業のご案内

10月

中村勘九郎 中村七之助 錦秋特別公演 2023

日時: 10月15日(日)
1回目/開場11:15 開演12:00
2回目/開場15:15 開演16:00

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 8,800円
A席 6,800円
B席 4,800円
※未就学児入場不可

発売中



中村七之助



中村勘九郎

10月

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 音楽監督: パーヴォ・ヤルヴィ ピアノ: ブルース・リウ

日時: 10月20日(金)
開場18:30 開演19:00

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
S席 14,000円
A席 12,000円
学生 5,000円
※未就学児入場不可

発売中



©Gaetan Bally



©Gaetan Bally



©Y. Zhang

ブルース・リウ

10月

市民創作ミュージカル Dear... [A Christmas Carol of ROSÉ THEATRE] ～Memory 25/30～

日時: 10月28日(土)
チーム.キャンドル/開場13:30 開演14:00
チーム.ベル/開場17:30 開演18:00
10月29日(日)
チーム.キャンドル/開場10:30 開演11:00
チーム.ベル/開場14:30 開演15:00

会場: 中ホール
入場料: (全席自由・税込)
均一 1,500円
※4歳以下入場不可

発売中



前回の様子

11月

シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会 ～中学生・高校生との共演プログラム～

※共演者選抜コンクール 11月12日(日)

共演する演奏者を決めるため、静岡県の中学生および高校生を対象としたコンクールを行います。詳細はホームページをご確認ください。

日時: 11月23日(木・祝)
開場15:30 開演16:00

会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 4,500円
学生 1,000円
※未就学児入場不可



発売中



photo by Chigusa Takashima



指揮/森亮平

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

Pick up vol.1 「特別会議室」

ワンランク上の空間で上質なアイデアを・・・

ロゼシアターの4階は会議室フロアとなっており、サイズやタイプの異なる5つの会議室と、和室があります。その中でも特別会議室はトイレも併設されており、少人数で行う重役会議などに適しています。また、窓から富士山を望む景観は、他県からお越しのお客様にも好評の一室です。



プレゼントのご案内

Aコース 公演チケット2組4名様

対象公演：『シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会』
11月23日(木・祝) 16:00開演

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法：はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望プレゼントを明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先：〒416-0953 富士市蓼原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ125号」プレゼント係

■締切：10月30日(月)必着

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

休館日のお知らせ

10月16日(月)
11月13日(月)・14日(火)
12月11日(月)
12月28日(木)午後～1月3日(水)

編集後記

2023年も下半期の始まりです。これから行う公演も様々なジャンルのものが目白押し!その中でも、市民創作ミュージカルは25周年目・フォークプラザは20回目と、長く続いてきた公演シリーズです。両公演とも節目を迎え、今年は特に気合が入っています。ロゼシアターで公演を観たい!と思ってもらえるように、事業のブラッシュアップを図りながら頑張っていきます。(木公)

本誌は8月20日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■Twitter 「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube 「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

ふじ・紙のアートミュージアム

第15回 紙のアートフェスティバル 2023

開催期間：2023.10/2(月)～12/10(日)

開館時間：10:00～18:00

観覧無料

休館日

10/16(月)、11/13(月)・14(火)

* ロゼシアター休館日に休館

●最新情報は、ウェブサイト・facebookをご参照ください。

ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>



レストラン「ロゼテラス」

令和5年4月よりメニューを一新し、営業しております。ご来館の際はぜひご利用ください。



〈鉄鍋オムパスタシリーズ〉
キーマカレーチーズ ¥1,480
まぜカルボナーラ ¥1,430
茄子ミート ¥1,430
たらこクリーム ¥1,480

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

◆場 所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間はランチ営業のみ行います。詳細につきましては、ロゼテラスホームページをご覧ください。



FLASH BACK 2023.5～7

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします!2023年5月～7月をフラッシュバック!!

めざましクラシックス in富士

6月4日(日) 16:00開演

- 楽しく、クラシックの勉強にもなり、美しい音楽を聴いて、大笑いして、とても楽しい時間でした。(50代女性)
- 清塚節でとても面白く、音楽を楽しんで学ぶことができた。(20代女性)
- トークに音楽にあつという間の時間でした。音楽史もよく知れて良かったです。(40代男性)



軽部真一(フジテレビアナウンサー)
清塚信也(Pf) 山本翔平(VI.)
高木慶太(Vc.)

葛西聖司の入門講座「能狂言の世界」

6月14日(水) 第一夜「能狂言が歌舞伎に?」 18:30開演

7月11日(火) 第二夜「狂言の魅力 萬斎公演直前講座」 18:30開演

- 野村萬斎の公演が楽しみになりました。(70代男性)
- とても解り易いお話で面白かったです。狂言の奥深さの一部を知ることが出来ました。(70代女性)
- 今まで狂言の世界を知ることがなかなか出来ませんでした。とても面白く楽しく理解できるようになりました。(60代女性)



小学生招待コンサート

6月29日(木)
午前の部 10:00開演
午後の部 14:00開演

- 楽器紹介や指揮者体験など子供たちにとって貴重なプログラムで一般でも楽しめました。(50代女性)
- 小学生のみんな、静かに演奏を聴いており、素晴らしいです。音楽を好きになってほしいです。(60代女性)
- 子供たちが主役!という演奏会がこれからももっと増えてほしい。(40代男性)



ロゼこどもコンサート

7月29日(土) 1回目 10:30開演 2回目 13:00開演

- 孫と一緒に楽しいヒトキを過ごすことができました(60代男性)
- 親子で楽しくクラシックに触れることができてとても良い経験になりました(30代女性)
- いろんな音楽や楽器を聞いたり体を動かしたりして、とても楽しく過ごせました(小学生以下女性)



中学生招待コンサート

6月8日(木) 午前の部 10:00開演 午後の部 14:00開演

- 指揮者体験は普通では出来ないようなことが体験でき、子供たちにとってはすごく良い経験になったと思います。(40代女性)
- 中学生の反応がういういしくて、こちらも楽しむことができました。演奏も良かったです。(30代男性)
- 中学生の多感な時に本物の芸術に触れることは、人生において大変有意義だと思います。中学生の聴く態度もとても良かったです。(60代女性)



デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration

6月24日(土) 18:00開演

- 生音と電子音を混奏するのは難しそうでしたが、見事にバランスと調和をされていて興味深かったです。(40代男性)
- 非日常の世界観に浸れて楽しかったです。(20代女性)
- 邦楽楽器の素晴らしい音色と閣下の朗読が表現力豊かで身も心も引き込まれました。(50代女性)



松平健コンサート2023

7月17日(月・祝) 16:00開演

- 見せる、魅せる、聴かせるエンターテインメントに、日常を忘れて優雅なひと時でした。(60代女性)
- 松平さんの圧倒的な存在感に驚きました。とてもかっこ良く、元気をいただきました。(20代女性)
- 明るい演出で楽しくなりました。若々しくてすばらしかったです!(40代男性)



野村萬斎 狂言のタベ

7月31日(月)
19:00開演

- 初めて狂言を観ましたが、解説があったのでとても見やすかったです。狂言について知ることができ、いろいろな演目を観てみたいと思いました。(50代女性)
- 狂言が身近で楽しいものに感じました。日本の伝統を子供も楽しめてとても良かったです。(40代女性)
- 最初に解説があり、これまでなじみがなかったですが、親しみがおり、大変楽しめました。(60代男性)

